

再 評 価 書

事業名	下水道事業	事業区分	松阪市関連公共 下水道（松阪処 理区）	事業主体	松阪市
事業概要	工 期	平成2年度～ 平成57年度	全体事業費	約172,400百万円	
事業目的及び内容					
<p>事業目的</p> <p>三重県の流域下水道整備と整合を図り公共用水域の水質保全と生活環境の改善に資するものである。</p> <p>全体計画</p> <p>計画区域面積 : 5,084ha 計画処理人口 ; 148,470人 計画汚水量 ; 93,532m³/日最大</p>					

事業主体の再評価結果

1. 再評価を行った理由

本事業は、事業採択後一定期間が経過した平成11年に再評価を行っている。今回、流域下水道事業の再評価実施にあわせて三重県公共事業再評価実施要綱第2条に基づき再評価を行う。

2. 事業の進捗状況と今後の見込み

本事業は、平成2年度から事業着手し、全体計画面積 5,084ha に対し平成16年度末の整備面積は 1,148ha (整備率 22.6%) となっている

今後、鋭意事業の進捗を図り、平成 57 年度に整備完了予定である。

3. 事業を巡る社会経済状況等の変化

(1) 全体計画

上位計画である「中勢沿岸流域下水道(松阪処理区)」との調整を図り平成16年度に見直しを行った。

(2) 周辺環境の変化

2級河川愛宕川の水質(BOD、SS)について、水洗化が進むにつれ改善がされ良くなってきている。

(3) 財政状況の変化

近年の厳しい財政状況から、建設費及び維持管理費のさらなるコスト削減を進めることが求められている。

(4) 市町村合併

松阪市は、平成17年1月1日に1市4町(松阪市、嬉野町、三雲町、飯南町、飯高町)による新松阪市が発足され、下水道事業については、松阪市、嬉野町、三雲町の1市2町で行っている。合併後も事業計画については、旧市町の計画を基に推進していく。

<p>4 . 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元の意向の変化等</p> <p>4-1. 費用対効果分析 平成2年度から事業を進めてきたが、平成11年の再評価時点では費用分析が必要事項ではなかったため、今回始めて費用効果分析を行った。(下水道事業の再評価実施要領細目H14.7.1で必要項目となった)</p> <p>4-2. 地元の意向 事業推進の支障となるような変化はなく、事業は順調に進められており、事業に対する住民の理解や協力も得られている。</p>	
<p>5 . コスト縮減の可能性や代替案立案の可能性</p> <p>5-1. コスト縮減 工事にあたり以下の具体的な取り組みを行ってきた。</p>	
<p>管渠の最小管径を 200mmから 150mmに、また、人孔間距離、人孔種別等の見直しを図った。</p>	<p>約 14,000 万円</p>
<p>5-2. 代替案 合併浄化槽を代替案として費用効果分析を行い、本事業の優位性を確認した。また、本事業は、事業着手後、10 数年を経過しているが順調に事業を進めており、現状での代替案は現実性がなく現計画を推進する方が妥当であると判断しています。</p>	
<p>6 . 費用効果分析 (合併浄化槽)</p> <p>C (費用) = 142,535 百万円 B (便益) = 156,757 百万円 B / C = 1.10</p>	
<p>事業主体の対応方針</p>	
<p>三重県公共事業再評価実施要綱第3条の視点を踏まえて再評価を行った結果、同要綱第5条第1項に該当すると判断されるため当事業を継続したいと考えている。</p>	